



完全保存版「自然素材住宅塾」



今の住まいと未来の住まいに役立つ情報満載

一柵靖人（いちます やすひと）
一級建築士・宅地建物取引士

こんにちは。駿河屋の一柵です。

そろそろ本格的な夏の時期になりますね。最近の夏は本当に暑くて危険なレベルです！エアコンが苦手な方や、なるべくエアコンに頼りたくない方は、今日の話しを是非参考にしてみてください。

それでは今月も子育てママのお役にたてる、おうちの事で大切なこと、発信します！

【エアコンになるべく頼らない、夏の暑さ対策】

夏でも暑くない家を手に入れるためには、家自体をしっかりと断熱を行ったうえで「暑さを入れない」とことと「暑さを遠ざける」ことがポイントです。では実際にどのように家の温度を管理していくのかというと、実は日中は窓を閉めることです。

夏の日差しが窓から入らないようにすれば、朝のうちに窓を閉めたほうが過ごしやすくなります。

外気温が室内温度より高くなる前に閉めるのです。日中は必用であればエアコンを軽くかける程度でOKです。

ただし、日射が室内に差し込んだ状態で窓を閉め切ると、温室のようになって暑くなってしまい逆効果です。

また、夜は室温より外気温が低くなったら窓をあけます。

防犯対策は必用ですが、通風できる窓や出入り口を開けて風を通しながら、夜間の冷気を家の壁や天井に蓄冷させるイメージです。

※蓄冷：冷たさを壁や天井などに蓄えて、長時間保たれること

夜間の冷気で明け方まで室内を冷やすようにすれば、日中は窓を閉めることで室温の

上昇は2度程度に抑えることができます。

これを実現させるには、植物の力を借りることが必須です。

植物は根から水を吸い上げて、葉から蒸散させていますが、このときに水が液体から気体に変化することでまわりから熱を奪います。

こうした原理を家づくりに応用するには、夏の日差しから家全体を植物で覆うことです。

植物ほどではないのですが、スタレもとても効果があります。

日射を防ぐには、ついカーテンやブラインドのイメージで、「室内側」を考えがちです。

しかし一番効果のあるのは、窓の外で日射を防ぐことなのです。

植物のほうが効果的なので、スタレは補助的に使ってください。

しっかりと断熱を行いながら、家全体を緑で包みこみ、スタレも活用する。

ここまではやられている方もいると思いますが、コツは朝の涼しいうちに窓を閉めて、夜間は室内温度よりも外気温が下がったら窓を開けて風を通す。ということです。

+--+--+--+--+--+--+--+--+--+--+ 【 あ と が き 】 +--+--+--+--+--+--+--+--+--+--+

先日は僕が推奨する「布クロス」の製造会社さんへ行ってきました。京都から電車で1時間ほど奈良のほうに行ったところにある工場です。現在はビニールクロスが一般的な世の中ですが、まだ布の壁紙を作っている会社が2社ほど残っているのです。布クロスといっても、普通に作ると接着剤などを多く使うことになるのですが、当社で使っている布クロスは、そうした表面処理なども全くしていない布クロスです。その為に貼る技術が高くないと施工ができないのですが、「良いものをお届けしたい」という想いで生産者さんも頑張ってくれています。製造工程を見ると、ところどころに人の目によるチェックがされていて、ひときわ目を光らせている年配の方がいるとおもったら社長が「あれがうちの会長です。」と紹介してくださいました。長い棒を持っていたのですが、先に何かついてるので、「あれは何ですか？」と言うと、「棒の先にガムテープを付けて、ゴミが繊維に紛れ込まないようにしているんです」と社長が説明してくれました。最後は女性が全箇所を目視確認して、ピンセットなどを使って修正などもしていました。全国各地の生産者の皆様に会っていますが、良い素材の生産にはかならず「人の目」が最終チェックになっています。こうした良いものがしっかり受け継がれるように、僕も背筋が伸びる想いでした。

☆★♪♪ 僕への住まいの質問、元気になる応援メッセージ受付中 ♪♪♪★★☆

家づくりをきっかけに「体と心がよるこび暮らし」を考える

創業 1657年 株式会社駿河屋 〒131-0033 東京都墨田区向島 1-24-16

フリーダイヤル 0120-124-029 (イニホ オガニク) <https://www.surugaya-life.jp>

